

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：本省 都市・地域整備局 街路交通施設課
 担当課長名：松井 直人

事業名	西鉄天神大牟田線 連続立体交差事業（春日原駅～下大利駅間）		事業区分	街路	事業主体	福岡県
起終点	福岡県福岡市博多区西春町二丁目 福岡県大野城市下大利三丁目			延長	3.5 km	
事業概要：西鉄天神大牟田線は春日市・大野城市の中心市街地を南北に縦断しており、平面交差する幹線道路等との慢性的な交通渋滞を解消するため、連続立体交差事業によって、春日原駅～下大利駅間の延長3.5 kmの区間において鉄道（駅舎3箇所を含む）を高架化し、12箇所の踏切を除却するものである。						
H11年度事業化	H13年度都市計画決定 （H19年度変更）	H15年度用地着手	H 年度工事着手			
全体事業費	372 億円	事業進捗率	10%	供用済延長	0 km	
踏切交通遮断量	815,489台/日					
費用対効果 分析結果	B/C： （事業全体） 1.7 （残事業） 1.9	総費用：（残事業）/（事業全体） 272 / 307億円 （事業費：272/307 億円 維持管理費：0/0 億円）	総便益：（残事業）/（事業全体） 525 / 525億円 （走行時間短縮便益：486 / 486億円 走行経費減少便益：33 / 33億円 交通事故減少便益：6.0/ 6.0億円）	基準年： 平成20年		
感度分析の結果	自動車交通量	10%減少の場合	1.6	10%増加の場合	1.9	
	平成20年度以降の投資額	10%減少の場合	1.9	10%増加の場合	1.6	
	平成20年度以降の事業期間	10%短縮の場合	1.7	10%延長の場合	1.7	
事業の効果等	本事業は、ボトルネック踏切を含む12箇所の踏切を除却することにより、踏切遮断による交通渋滞及び踏切事故を解消し、さらに鉄道により分断された市街地を一体化させ、都市機能の向上を図る。					
関係する地方公共団体等の意見	春日市・大野城市においては、本事業及び関連事業をまちづくりの最重点施策として位置づけ、地元説明会等を行い、事業推進へ向けての環境整備に努めている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	事業採択時（平成11年度）より、現在まで慢性的渋滞が継続している。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成13年10月に都市計画決定、平成20年3月に都市計画変更。平成16年2月に都市計画事業認可を取得した。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	事業進捗に向け、用地・物件補償の交渉等に関係機関と一体的に取り組む。					
施設の構造や工法の変更等	駅舎構造等について、コスト縮減を検討中である。					
対応方針						
対応方針決定の理由	事業地周辺の踏切の渋滞や事故の解消、さらに、土地区画整理事業等と併せてまちづくりを促進し、地域の活性化を図ることによる事業の広範囲な波及効果等を総合的に検討した結果、事業継続とする。					
事業概要図	<p>凡例 (●) ボトルネック踏切 ○ その他の踏切</p>					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものである。